

53億7700万円スタート

平成8年度一般会計予算

3月定例町議会で平成8年度予算が可決されました。特別会計を含めた予算総額は74億8231万円で、このうち一般会計予算は、前年度の当初予算に比べ7・8%増の53億7700万円となりました。

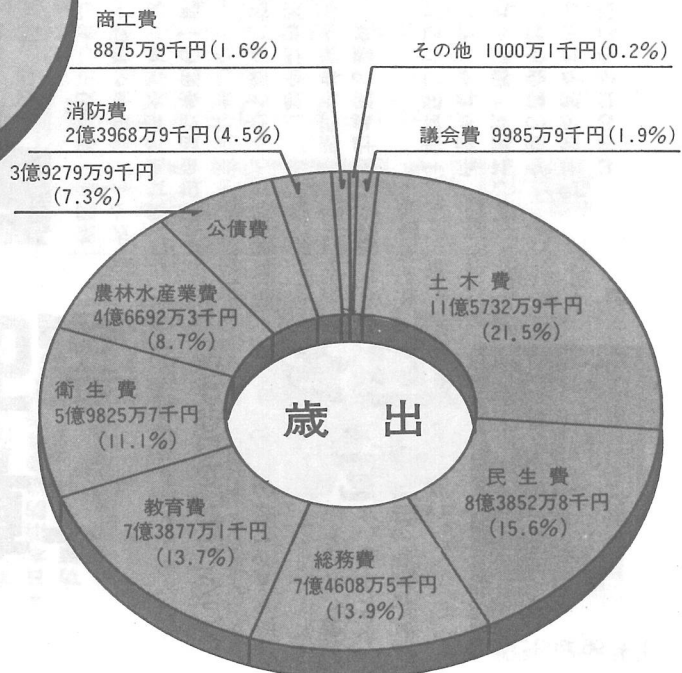
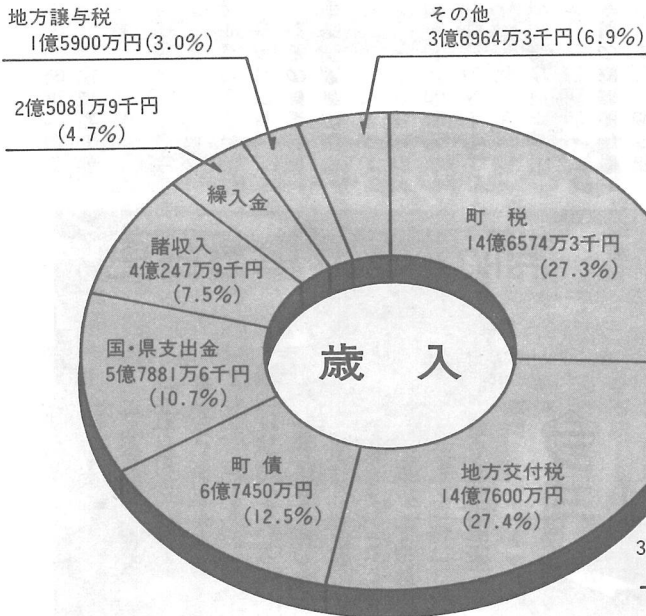
今年度は、第2次基本計画の目標年次を迎えますが、総合計画に基本テーマとして掲げた町の将来像、豊かな自然、みなぎる活力、そして……心をつなぐ「まち」をめざし、5つの柱を軸に限られた財源を効率よく配分しています。今月号では、今年度を実施される主な事業と予算の概要についてお知らせします。

歳入

町税については、長引く景気の低迷から大きな伸びが期待できず、7・7%増の14億6574万3千円となっています。

また、町税と共に歳入の大きな柱となる地方交付税は、9・4%減の14億7600万円で、これは交付税の算定方法の改正や山武郡環境衛生事業振興組合で建設を進めていたゴミ焼却施設が完成したことなどが主な要因となっています。このほか、国、

県支出金、財政調整基金(積立金)繰入金、町債費(借入金)などが計上され、各事業の財源として配分されていますが、中でもふれあいスポーツ広場二期事業の陸上競技場建設などによって、町債費が127・3%増の6億7450万円で大きく伸びています。



歳出

ふれあいスポーツ広場の二期(陸上競技場)や道路、駅東側広場の整備などによって、土木費が36・7%増え予算総額の21・5%を占めています。